

2012年9月期 第2四半期 決算説明資料

2012年5月

フィンテック グローバル株式会社

(東証マザーズ:8789)

<http://www.fgi.co.jp/>

2012年9月期 第2四半期 業績(連結)

(単位：百万円)	2011年9月期 第2四半期累計期間	2012年9月期 第2四半期累計期間	前年 同期比	2012年9月期 通期業績予想
売上高	4,977	1,451	△3,525	3,560
売上総利益	2,858	810	△2,048	—
営業利益	1,791	△164	△1,955	80
経常利益	1,757	△138	△1,896	150
四半期(当期)純利益	1,835	△462	△2,297	280

全般的な営業・決算概況

- ✓ 財務アドバイザー業務（FA）、アセットマネジメント（AM）業務の継続案件で一定の安定収益を確保しつつ、前期実行の不動産投資案件の回収、FinTech Gimv Fund (FGF) での投資先の創業ベンチャー企業の株式売却益320百万円により収益を計上。
しかしながら大型のファイナンスアレンジ、AMの獲得に至らず、FGIの投資先については企業価値増大に注力しエグジットを見送ったことで、通期業績予想に対し進捗が遅れる。
- ✓ FGIキャピタル・パートナーズ(FGICP)は、グローバルマクロ運用の運用成績低迷、及びベンチャー投資運用の投資先企業がエグジットしなかったことにより、成功報酬収益が計上できず。また、2011年11月より提供を開始した投資運用戦略(イベント・ドリブン戦略)の資産運用残高(AUM)の増しを企図するも、AIJ問題の影響で年金基金等の新規の運用委託は様子見の動きとなる。
これらの状況を踏まえ、単体で特別損失にFGICPに係る関係会社株式評価損324百万円を計上(連結では相殺消去)し、連結で特別損失にのれん償却額126百万円を計上。第3四半期からはFGICPの経営者、体制を刷新して、AIJ問題を契機とした運用会社の選別の動きに、厳格なコンプライアンス態勢、上場会社の子会社としての信用力並びに充実した運用体制、独自の運用商品をもって対応して年金基金等からの運用委託の増しを企図。あわせて業務合理化による販管費減も進め業績の立て直しをはかる。
- ✓ 投資先Craneの再保険事業では、出再元の都合により、第1四半期、第2四半期に対応する勘定書交付が遅れており、売上計上には至らず。(今後交付が見込まれる当該勘定書に基づく収益費用は、今後の決算で計上予定)

セグメント別業績

単位：千円		2011年9月期 第2四半期		2012年9月期 第2四半期		増減		主な連結会社
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
1	投資銀行事業	309,763	149,895	119,843	△43,171	△189,919	△193,066	フィンテックグローバル証券 (FGS)
2	アセットマネジメント事業	178,493	18,601	124,766	△140,604	△53,727	△159,205	フィンテックアセットマネジメント (FAM) FGIキャピタル・パートナーズ (FGICP)
3	プリンシパル インベストメント事業	3,530,538	1,858,179	730,506	169,911	△2,800,031	△1,688,268	フィンテックグローバル (FGI)
4	その他投資先事業	865,039	56,905	575,246	225,261	△289,792	168,355	ベルス、Crane Reinsurance FinTech Gimv Fund (FGF)
5	公共財関連事業	122,438	2,553	118,722	△52,793	△3,716	△55,347	パブリック・マネジメント・ コンサルティング (PMC)
	合計	5,006,272	2,086,135	1,669,085	158,603	△3,337,187	△1,927,531	
	調整額	△28,754	△294,699	△217,162	△322,741	△188,408	△28,042	
	連結PL計上額	4,977,518	1,791,436	1,451,922	△164,137	△3,525,596	△1,955,573	

1

FGSは事業会社のFA業務により一定の安定収益は確保しつつも、大型案件の減少により、前年同期比で減収。下期は、FGIグループの案件探索、投資家探索の営業開発部門としての位置付けのもと、①事業再生案件に係るFA業務、②中堅デベロッパにニーズが高い開発型のアレンジ、③DPO(Discount pay off)を用いた事業再生アレンジ、④PMCとの協働による新エネルギー事業に注力して顧客層の拡大を狙う。

2

FAMはリファイナンス及びAM継続案件による手数料収入があるも、大型案件等があった前年同期と比べ減収。下期は、外部投資家を招聘し有望企業・事業に投資するファンドを設立、運営する事業を新たに開始し、巻き返しを狙う。
FGICPはグローバルマクロ運用及びベンチャー投資運用での成功報酬による収益がなかったことや、AIJ問題で年金基金等が新規投資に慎重となったことで、AUMの増しのペースが鈍化。今後は上場会社の子会社としてのメリットを生かし、高い信用力を有する運用会社として、AUMの増しを企図していく。

3

FGIはグループ内外で見出される投融資機会に対し厳選して資金拠出し、投資先企業の経営支援により企業価値向上に努める。収益としては、前期に実行した投資回収が中心となる。投資先企業には、その価値を大きく増大させている企業もあり、今後これらの適切な出口戦略を検討。

4

投資先ベルスの業績は計画値を上回り好調に推移。投資先Craneは、出再元の都合で第1、第2四半期に対応する勘定書の交付が遅れていることから、前期までに交付された勘定書に基づき未経過保険料・保険金、コストを計上。なお、今後交付が見込まれる勘定書に基づく収益費用は今後の決算で反映予定。ベンチャーファンドのFGFは、創業ベンチャー企業の株式売却により、売上320百万円、営業利益256百万円を計上する。

5

2012年度予算獲得に向けて継続して営業強化するも、総務省研究会答申待ちの自治体が多く、契約件数が伸び悩む。他方、自治体以外で官庁会計を利用するマーケットの開拓により契約が増加し、売上を押し上げる。継続して、このマーケットでの契約を増やし、下期は販売チャネル拡大による新規顧客獲得で通期黒字化を狙う。さらに、自治体向けに環境配慮型エネルギー事業や、他システム会社との連携など新しい取組みを積極的に取り入れる予定。

2012年9月期 通期連結業績予想(連結)

(単位：百万円)	2012年9月期 第2四半期累計実績(A)	2012年9月期 通期業績予想(B)	(B)-(A)
売上高	1,451	3,560	2,108
営業利益	△164	80	244
経常利益	△138	150	288
四半期(当期)純利益	△462	280	742

[通期業績予想に変更はありません]

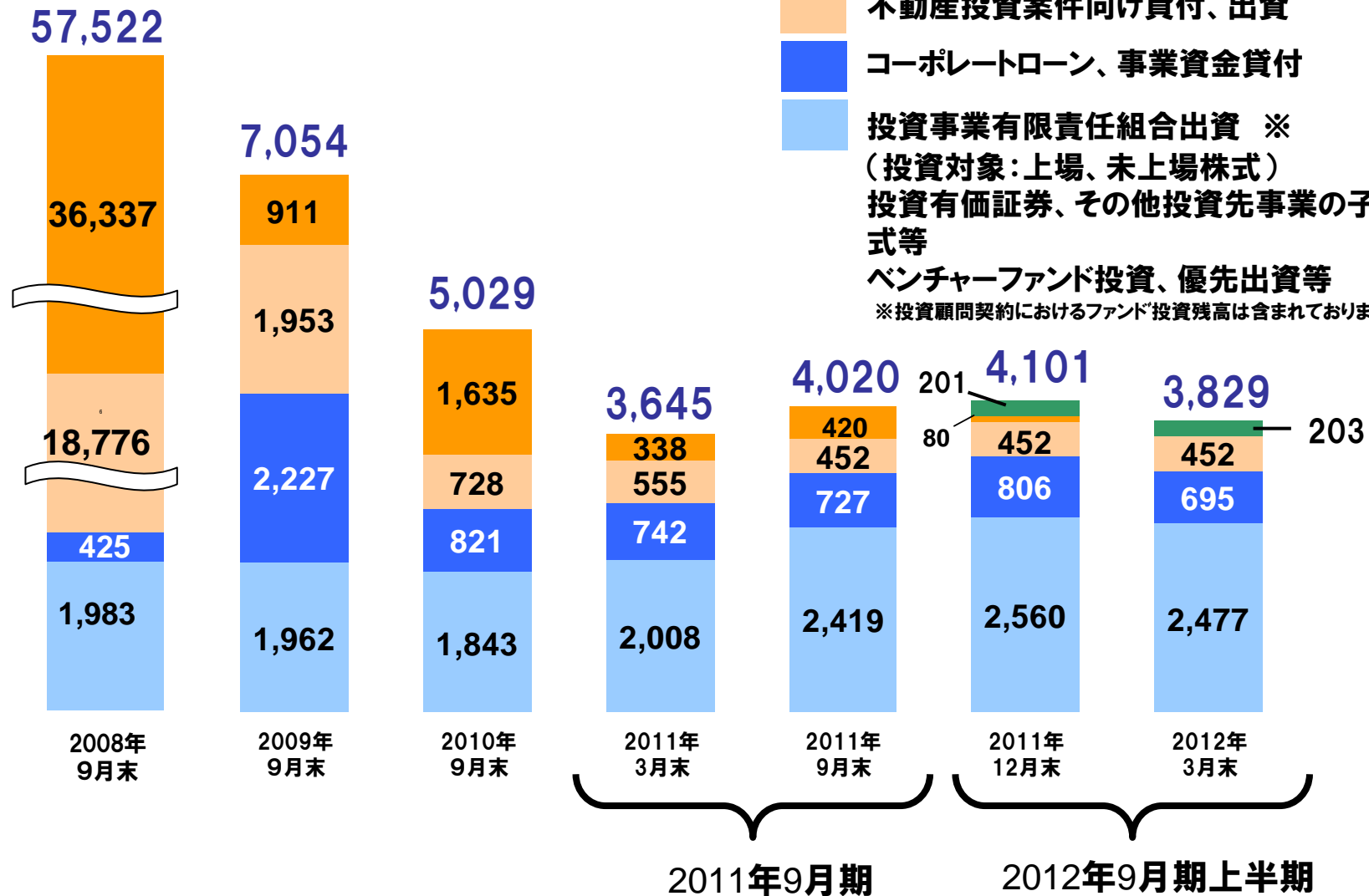
2012年9月期通期連結業績予想について

2012年9月期連結業績予想につきましては、当第2四半期決算発表時点においては、2011年11月14日に公表しました業績予想を修正しておりません。

既存のプリンシパル投資先企業については企業価値の増大に努めており、すでに相応の企業価値を有する企業もあります。経営支援による更なる企業価値向上を見込んで保有を継続する選択肢もありますが、これらの企業の売却等による当連結会計年度中のエグジットを当然検討しております。投資リターン及び各事業の挺入れ等をもって通期業績予想を十分に達成しうするため、現時点においては通期業績予想を変更いたしません。各事業においては、第3四半期より主要な子会社の経営陣、体制変更も含め、新たな経営施策を開始しており、今後も更なる業績及び企業価値向上に邁進して参ります。

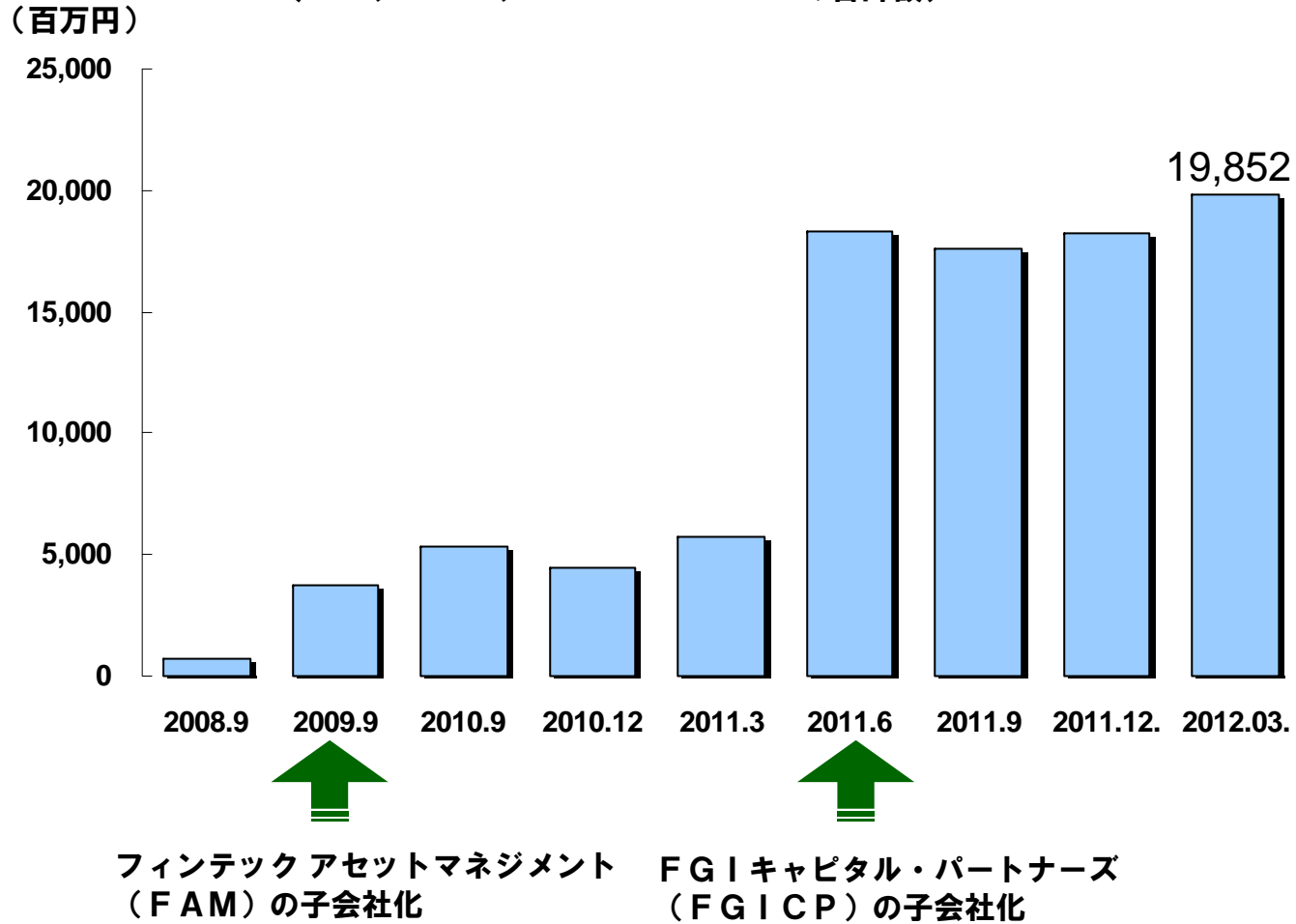
プリンシパルインベストメントのポートフォリオの推移

(単位：百万円、全額引当の債権を除く金額)



FGIグループの資産受託額の推移

当第2四半期は、2011年11月設定の新運用戦略(イベント・ドリブン戦略)の受託が増加
(FAM、FGICP、FinTech Gimv Fundの合計額)



連結貸借対照表

資産の部

	11年9月期	12年9月期 第2四半期	増減
流動資産	6,656,212	5,887,962	△ 768,249
現金及び預金	1,804,161	2,579,580	775,418
売掛金	125,682	144,192	18,509
1 営業投資有価証券	2,002,744	2,263,448	260,703
2 販売用不動産	420,531	—	△ 420,531
繰延税金資産	1,049	5,868	4,819
営業貸付金	2,707,235	2,702,579	△ 4,655
3 未収入金	1,563,973	165,013	△ 1,398,960
その他	122,286	63,854	△ 58,432
貸倒引当金	△ 2,091,453	△ 2,036,574	54,879
固定資産	1,026,282	801,682	△ 224,600
有形固定資産	169,408	162,952	△ 6,456
4 無形固定資産	502,844	322,550	△ 180,294
投資その他の資産	354,029	316,179	△ 37,849
資産合計	7,682,494	6,689,644	△ 992,850

- 1 グループ運用のオルタナティブ投資、及び企業投資による増加
- 2 投資回収による減少
- 3 前期収益計上案件の入金及び未収保険料収入の精算
- 4 F G I C Pに係るのれんの一括償却による減少
- 5 期間経過に対応する保険金支払備金が増加するも、支払が確定した保険金の精算があり減少
- 6 四半期純損失及び利益配当による減少

負債の部

(単位: 千円)

	11年9月期	12年9月期 第2四半期	増減
流動負債	1,176,541	970,995	△ 205,545
短期借入金	55,000	40,000	△ 15,000
一年内返済予定 長期借入金	81,837	2,004	△ 79,833
未払金	301,649	291,784	△ 9,865
未払費用	54,312	30,380	△ 23,932
預り金	490,755	490,707	△ 48
その他	192,986	116,119	△ 76,867
固定負債	1,635,063	1,345,104	△ 289,958
長期借入金	45,157	4,155	△ 41,002
繰延税金負債	74,123	80,991	6,867
退職給付引当金	86,097	92,529	6,431
5 保険契約準備金	1,286,699	1,157,180	△ 129,519
その他	142,985	10,248	△ 132,736
負債合計	2,811,604	2,316,100	△ 495,504

純資産の部

株主資本	3,936,656	3,355,329	△ 581,326
資本金	2,312,384	2,312,517	133
資本剰余金	5,183	5,183	0
6 利益剰余金	1,671,501	1,090,041	△ 581,459
自己株式	△ 52,412	△ 52,412	0
その他の包括利益累計額	△ 179,872	△ 137,060	42,812
その他有価証券評価差額金	△ 629	△ 4,259	△ 3,630
為替換算調整勘定	△ 179,243	△ 132,801	46,442
新株予約権	18,091	17,592	△ 498
少数株主持分	1,096,015	1,137,682	41,667
純資産合計	4,870,890	4,373,544	△ 497,345
負債純資産合計	7,682,494	6,689,644	△ 992,850

連結損益計算書

	2011年9月期 第2四半期累計	2012年9月期 第2四半期累計	増減	(単位: 千円) 2011年9月期
売上高	4,977,518	1,451,922	△ 3,525,595	6,988,197
売上原価	2,119,333	641,890	△ 1,477,442	3,479,193
売上総利益	2,858,184	810,031	△ 2,048,152	3,509,003
販売費及び一般管理費	1 1,066,748	974,168	△ 92,579	2,232,314
営業利益又は営業損失(△)	1,791,436	△ 164,137	△ 1,955,573	1,276,688
営業外収益	6,747	29,393	22,646	13,940
営業外費用	40,876	4,255	△ 36,620	69,728
経常利益又は経常損失(△)	1,757,307	△ 138,999	△ 1,896,306	1,220,900
特別利益	367,722	1,051	△ 366,670	589,628
特別損失	271,950	2 161,113	△ 110,836	398,839
税金等調整前四半期(当期)純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,853,079	△ 299,061	△ 2,152,140	1,411,689
法人税等	39,184	7,904	△ 31,279	61,432
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,813,894	△ 306,965	△ 2,120,859	1,350,257
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 21,417	3 155,329	176,746	△ 53,789
四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)	1,835,311	△ 462,295	△ 2,297,606	1,404,046

1 主に、支払手数料の削減及び引当済の貸付金の回収により、貸倒引当金繰入額の変更差額をマイナスで計上したことによる減少

2 FGICPに係るのれん償却額126百万円

3 主にFGFの少数株主利益

参考資料

- 個別財務諸表（貸借対照表、損益計算書）
- 連結業績推移（6期分）
- 子会社単体業績の推移

個別貸借対照表

(単位: 千円)

資産の部

	11年9月期	12年9月期 第2四半期	増減
流動資産	3,066,538	2,463,967	△ 602,571
現金及び預金	425,683	729,649	303,966
売掛金	105	6,090	5,985
営業投資有価証券	799,007	930,239	131,232
販売用不動産	284,078	—	△ 284,078
営業貸付金	2,718,194	2,713,538	△ 4,655
短期貸付金	146,127	50,906	△ 95,221
未収入金	758,545	32,630	△ 725,914
その他	35,005	37,983	2,978
貸倒引当金	△ 2,100,208	△ 2,037,071	63,136
固定資産	3,843,843	3,819,930	△ 23,912
有形固定資産	157,079	149,779	△ 7,299
無形固定資産	10,684	8,091	△ 2,592
投資その他の資産	3,676,079	3,662,058	△ 14,021
資産合計	6,910,381	6,283,897	△ 626,484

負債の部

	11年9月期	12年9月期 第2四半期	増減
流動負債	2,977,952	2,806,861	△ 171,091
短期借入金	1,287,026	1,260,184	△ 26,841
未払金	1,155,402	1,035,715	△ 119,687
預り金	483,602	485,747	2,145
その他	51,920	25,213	△ 26,707
固定負債	38,268	32,192	△ 6,075
退職給付引当金	22,317	28,649	6,332
その他	15,951	3,543	△ 12,408
負債合計	3,016,221	2,839,054	△ 177,166

純資産の部

株主資本	3,876,068	3,427,250	△ 448,818
資本金	2,312,384	2,312,517	133
資本剰余金	14	14	0
利益剰余金	1,563,669	1,114,717	△ 448,951
新株予約権	18,091	17,592	△ 498
純資産合計	3,894,160	3,444,843	△ 449,317
負債純資産合計	6,910,381	6,283,897	△ 626,484

個別損益計算書

(単位: 千円)

	2011年9月期 第2四半期累計	2012年9月期 第2四半期累計	増減	2011年9月期
売上高	3,890,487	742,935	△ 3,147,551	4,474,381
売上原価	1,502,885	396,220	△ 1,106,664	1,840,575
売上総利益	2,387,601	346,715	△ 2,040,885	2,633,805
1 販売費及び一般管理費	837,819	348,259	△ 489,559	1,372,350
営業利益又は営業損失(△)	1,549,782	△ 1,543	△ 1,551,325	1,261,455
営業外収益	7,764	9,765	2,001	14,352
営業外費用	29,073	1,161	△ 27,911	30,875
経常利益又は経常損失(△)	1,528,472	7,059	△ 1,521,412	1,244,931
特別利益	367,273	866	△ 366,406	496,433
特別損失	11,193	2 335,362	324,169	176,484
税引前当期(四半期)純利益 又は税引前四半期純損失(△)	1,884,553	△ 327,435	△ 2,211,988	1,564,879
法人税等	605	612	7	1,210
四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)	1,883,948	△ 328,047	△ 2,211,995	1,563,669

1 主に、支払手数料の削減及び引当済の貸付金の回収により、貸倒引当金繰入額の変更差額をマイナスで計上したことによる減少

2 FGICPの関係会社株式評価損324百万円

連結業績の推移

決算年月		2007年 9月期	2008年 9月期	2009年 9月期	2010年 9月期	2011年 9月期	2012年9月期 第2四半期
売上高	(百万円)	16,914	14,165	10,385	3,465	6,988	1,451
売上総利益	(百万円)	11,432	8,314	△ 7,326	935	3,509	810
経常利益又は経常損失(△)	(百万円)	5,951	△ 9,114	△ 21,197	△ 2,604	1,220	△ 138
当期純利益又は当期純損失(△)	(百万円)	1,767	△ 7,160	△ 12,091	△ 2,172	1,404	△ 462
純資産額	(百万円)	27,191	17,426	5,447	3,164	4,870	4,373
総資産額	(百万円)	90,740	79,021	15,766	7,352	7,682	6,689
1株当たり純資産額	(円)	20,797.85	13,911.77	3,851.31	2,024.72	3,152.33	2,700.25
1株当たり当期純利益金額 又は当期純損失金額(△)	(円)	1,484.29	△ 5,937.48	△ 10,008.43	△ 1,798.88	1,168.69	△ 387.91
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	(円)	1,395.39	—	—	—	1,168.05	—
自己資本比率	(%)	27.56	21.27	29.52	33.30	48.90	48.11
自己資本利益率	(%)	7.09	△ 34.25	△ 112.68	△ 61.21	45.30	—
株価収益率	(倍)	23.78	—	—	—	2.57	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 10,000	13,155	8,333	626	1,953	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 7,150	△ 12,099	7,687	△ 2,281	△ 631	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	15,018	△ 6,743	△ 19,674	△ 3,376	△ 413	—
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	15,163	9,500	5,811	829	1,711	—
従業員数(連結) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	129(11)	112(7)	117(16)	72(13)	70(17)	66(22)
従業員数(単体) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	78(8)	83(5)	50(5)	40(2)	15(2)	15(4)

子会社単体業績の推移

単位：百万円

フィンテック グローバル証券	2010年9月期			2011年9月期			2012年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期
売上高	8	1	10	309	138	448	119
売上総利益	8	1	10	306	138	445	119
経常利益	△33	△42	△76	150	△56	93	△42

フィンテック アセット マネジメント	2010年9月期			2011年9月期			2012年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期
売上高	33	49	83	178	166	344	54
売上総利益	33	49	83	178	119	297	54
経常利益	△0	24	24	19	△27	△8	△16

FGIキャピタル・ パートナーズ	2011年9月期 (2011年5月～9月) (注)	2012年 9月期
		上半期
売上高	110	70
売上総利益	110	70
経常利益	△32	△118

(注) 2011年5月より連結業績に取り込んでおります。

パブリック・ マネジメント・ コンサルティング	2010年9月期			2011年9月期			2012年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期
売上高	121	50	172	122	85	208	118
売上総利益	19	△55	△36	57	21	79	27
経常利益	△41	△165	△206	1	△46	△44	△53

ベルス	2010年9月期			2011年9月期			2012年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期
売上高	254	292	546	244	274	518	253
売上総利益	198	235	433	190	232	423	212
経常利益	0	30	31	2	51	53	25

Crane Reinsurance	2010年9月期			2011年9月期			2012年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期
売上高	444	47	492	618	789	1,408	—
売上総利益	△36	14	△21	134	18	153	7
経常利益	△39	△33	△72	125	△15	110	△8

免責条項

本資料は、当社およびFGIグループの2012年9月期第2四半期業績に関する情報の提供を目的としたものであり、有価証券にかかる売買、金融商品取引に係る契約等いかなる商品の勧誘をするものではありません。

本資料に記載されている、各種資料・文書には、当社またはFGIグループに関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする歴史的事実以外の事実を記載しているものが含まれていることがあります。これらの歴史的事実以外の事実(以下、「将来情報」ということがあります)の記載は、当社またはFGIグループが入手した情報に基づく、当該資料・文書の日付(または当該資料・文書に別途明示された日付)時点における予測、期待、想定、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・目標設定等を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。したがって、これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的に不正確であり、将来実現しないという可能性があります。その原因となりうるリスクや要因は多数あります。将来情報は、将来発生する事象、リスク、不確実性を内包する要因を含んでおり、そうした前提は、当社またはFGIグループの実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。かかる要因には、日本国、米国、アジアあるいはその他の国・地域における経済状況の悪化、不動産価値または株価の下落、FGIグループの貸出先の産業分野における企業破綻の増加やその他問題の発生、当社の経営統合およびコスト削減期待の実現の困難化または遅延、競争の激化、FGIグループの業務に関わる法令規則の改正、FGIグループにとって不利益となる日本国経済その他の政策の変更が含まれます。

なお、将来情報に関する記述を含む資料・文書が本資料に記載されている間においても、当該将来情報は上記のとおり当該資料・文書の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

